

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅴ		科目コード	28071601		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	前期	72	4	無
授業の概要・目的	就職目前となり、実際に自分が仕事をする意識を持ち、社内での具体的な場面の例題から対応やマナーを学ぶ。					
到達目標	日本で働くことが目前となり、実際に仕事をすることを意識して場面ごとに応じた具体的なマナーや対応、言葉遣いを習得する。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)。					
評価基準	確認テスト: 単元ごとの確認テストを行う。 期末試験: 単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	改訂版 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール					
関連科目	ビジネス基礎Ⅰ ビジネス基礎Ⅱ ビジネス実務Ⅲ ビジネス実務Ⅳ ビジネス実務Ⅵ					
授業計画	第1章 ビジネスコミュニケーション 第2章 ビジネスのルール 第3章 社内のマナー					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	実践ビジネスコミュニケーション I		科目コード	28017301		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	45	2	無
授業の概要・目的	日本のビジネスに必要な基本的なこと(敬語やビジネスマナー)を身につける。また、敬語の意味や使い方を学習しながら、日本社会のあらゆるビジネスシーンで対応きる実際の会話力を養う。					
到達目標	日本で働くときに役に立つマナーやルールについて理解し、実践できる。日本人学科との合同授業において、グループワークを通して意見交換ができるようになる。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(10%)、提出物(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元ごとについて確認テストを行う。 提出物: 決められた単元の発話を動画で撮影し、発音のレベルをはかる。 期末試験: 単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	川口 芳子		常勤			
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	日本語学習者のための それ、知りたかったカイシャの日本語 公益財団法人 日本漢字能力検定協会					
関連科目	言語基礎 I A II A 言語基礎 I B II B 通訳 I II III IV 言語知識 I A II A 言語知識 I B II B 実践ビジネスコミュニケーション II					
授業計画	1 第1章 挨拶のスキル スピーキングテスト 2 第2章 聞き取りのスキル① スピーキングテスト 3 第3章 聞き取りのスキル② 4 第4章 やりとりのスキル① 確認テスト 5 第5章 やりとりのスキル② 6 第6章 やりとりのスキル③ 7 第7章 読み取りのスキル①					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	IT企業リテラシー I			科目コード	28070801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	60	3	無
授業の概要・目的	日本の社会で働く上で必要な社会のマナーを理解し、あらゆるビジネスシーンに対応できる力を身につける。 日本で就職するうえで必要な知識や技術(敬語、ビジネス文書、SPI、グループディスカッション)を深める。					
到達目標	就職先となる4分野の業界について、必要な情報を主体的に収集することができる。また、SPIの問題が解けるようになる。					
評価項目	期末試験(85%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元ごとの確認テストを行う。 期末試験: 単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	ドリル式 あつという間にまるわかりSPI問題集2027 図解&書き込み式					
関連科目	IT企業リテラシー II					
授業計画	・すららネット ・第一章 SPI非言語分野(理数系)					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	Javaプログラミング演習Ⅱ			科目コード	28021801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	60	3	無
授業の概要・目的	Iで学んだJavaによる基本的な処理とデータ構造、オブジェクト指向の基本概念を問題演習を繰り返すことにより理解を深めJava検定2級取得を目的とする。					
到達目標	Iに引き続き、C言語の知識を生かし、日本人学生と同じスピードで、新しいプログラミング言語を修得し、Javaプログラミング2級の取得を目指す。					
評価項目	検定結果(50%)、確認テスト(45%)、出欠席(5%)					
評価基準	検定結果:Java2級の検定結果により判定し評価する。 確認テスト:単元別確認テストで理解をはかる。					
担当教員	若林 潤一			非常勤		
実務経験者による授業	県内システム会社勤務を経てWEBサービス会社の社長COOとして従事した後独立。Webシステムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。					
テキスト・参考文献	サーティファイ Java™プログラミング能力認定試験2級 過去問題集 サーティファイ 発行 スッキリわかるJava入門 第3版 インプレス スッキリわかるJava入門 実践編 第3版 インプレス					
関連科目	Javaプログラミング演習Ⅰ C言語プログラミング演習ⅠⅡ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ① 2. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ② 3. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ③ 4. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ④ 5. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ⑤ 6. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ⑥ 7. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ①・②抜粋 8. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ③・④抜粋 9. Javaプログラミング能力認定試験 2級過去問題集 過去問題 ⑤・⑥抜粋 					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	データベース演習			科目コード	28023401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	50	2	無
授業の概要・目的	SQLの基本的な文法及び、正規化の考え方を学習し、SQLが発行できるようになることと、情報処理試験のSQL問題が解けることを目的とする。					
到達目標	リレーショナルデータベース(Rデータベース)の基礎、SQLの基本的な文法および正規化の考え方を学習し、SQLでRデータベースを操作することができる。					
評価項目	期末試験(95%)、出席率(5%)					
評価基準	期末試験:データベースの全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	スッキリわかるSQL入門 第2版(インプレス社) 情報処理試験合格へのパスポート システム開発と情報技術(シラバス7.0対応) ウイネット					
関連科目	情報セキュリティ概論 コンピュータシステム I II III					
授業計画	1. 第0章 データベースを学ぶにあたって 第I部 SQLを始めよう 2. 第1章 はじめてのSQL 3. 第2章 基本文法と4大命令 4. 第3章 操作する行の絞り込み 5. 第4章 検索結果の加工 第II部 SQL を使いこなそう 6. 第5章 式と関数 7. 第6章 集計とグループ化 8. 第7章 副問い合わせ 9. 第8章 複数テーブルの結合 第III部 データベースの知識を深めよう 10. 第9章 トランザクション 11. 第10章 テーブルの作成 12. 第11章 さまざまな支援機能 第IV部 データベースで実現しよう 13. 第12章 データベースの設計 付録 14. 練習ドリル 基礎問題(SQL) 15. 練習ドリル 発展問題(データベース設計)					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	JavaScript演習			科目コード	28025101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	45	2	無
授業の概要・目的	JavaScriptおよびjQueryの基本文法を学習しWebサイトに自動的なパーツや要素を作成しインタラクティブなサイトを制作できることを目的とする。					
到達目標	JavaScriptの基本的な文法を修得し、ブラウザの表示を自動的に変更するアプリケーションを作成できる力を身につける。					
評価項目	期末試験(65%)、制作物(30%)、出欠席(5%)					
評価基準	制作物: JavaScriptを使ったページを作成しプレゼンテーションを行いアウトプットする。その表現結果により評価する。 期末試験: JavaScriptの全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	伊藤 宏一郎			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	ECMAScript 2017(ES8)対応 人気講師が教えるWebプログラミング入門(インプレス)					
関連科目	Webサイト制作演習 I II Webサイト制作演習Ⅲ(HTML,CSS)					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 1 プログラムを作成する準備をしよう <li style="padding-left: 20px;">Chapter 2 プログラムを作りながら基礎を学ぼう 2. Chapter 3 条件分岐について学ぼう 3. Chapter 4 関数の基本を学ぼう 4. Chapter 5 繰り返し処理について学ぼう 5. Chapter 6 HTML/CSSを操作する方法を学ぼう 6. Chapter 7 ユーザーの操作に対応させよう 7. Chapter 8 データをまとめて扱おう 8. Chapter 9 フォトギャラリーを作成しよう 9. Chapter 10 便利なjQueryを使用してみよう 10. Chapter 11 Web APIの基本を学ぼう 11. Chapter 12 YouTubeの動画ギャラリーを作ろう 12. JavaScriptを使ったWebページ制作 					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	IT実践演習			科目コード	28014801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	60	3	無
授業の概要・目的	2次元CAD利用技術者基礎試験の合格に向けて、6つの章から成り立つ範囲の理解、CADだけではなく、ネットワーク、セキュリティ、法律、図形も身に付ける。					
到達目標	2次元CAD利用技術者基礎試験の合格に向けて、CADと製図の基本技術を身につけることができる。					
評価項目	期末試験(55%)、課題提出(40%)、出席率(5%)					
評価基準	単元終了ごとに確認テストを実施するため、その評価も含める。					
担当教員	玉置 順一			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	2023年度版 CAD利用技術者試験 2次元2級・基礎公式ガイドブック 日経BPマーケティング CAD利用者技術試験「基礎試験」練習問題ドリル365問					
関連科目	CAD演習					
授業計画	<p>1 第1章 CADシステムの知識と利用</p> <p>2 第2章 CADシステムのプラットフォーム</p> <p>3 第3章 CADシステムの関連知識</p> <p>4 第4章 製図の知識</p> <p>5 第5章 図形</p> <p>6 問題演習</p>					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	日本語能力試験Ⅴ			科目コード	28017201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	45	2	無
授業の概要・目的	<p>日本語能力試験合格を目的とする。</p> <p>語彙・文法・聴読解・会話作文の各授業で学んだ内容を、JLPT試験の問題答練として演習し、確実に合格できるようにしていく。</p> <p>日本語能力試験JLPTの試験を同様の形式で行うことにより、自身の課題発見につなげる。</p>					
到達目標	日本語能力試験の語彙、文法、聴解・読解の各分野について、試験のレベルに対応した問題が理解できる。					
評価項目	期末(模擬)試験(85%)提出物(10%)出席率(5%)					
評価基準	期末試験:対策期間中に実施した模擬試験の平均点で評価。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「日本語能力試験ベスト総合問題集」ジャパントイムズ					
関連科目	日本語能力試験Ⅰ 日本語能力試験Ⅱ 日本語能力試験Ⅲ 日本語能力試験Ⅳ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語知識(文字)(語彙)(文法) 2. 読解 3. 聴解 4. 模擬試験 5. 弱点問題答練 					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務VI			科目コード	28072601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	後期	45	2	無
授業の概要・目的	Vでは社内のマナーを具体的に学び習得後、VIでは社外のマナーで具体的な場面での礼儀作法、言葉遣い、マナーを学びながら日本文化の理解をする。					
到達目標	Vに引き続き、日本での就職を具体的に意識して、社外での礼儀作法やマナーから日本文化を理解する。					
評価項目	期末試験(95%) 出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元ごとの確認テストを行う。 期末試験: 単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	改訂版 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール					
関連科目	ビジネス基礎 I ビジネス基礎 II ビジネス実務III ビジネス実務IV ビジネス実務V					
授業計画	第4章 社外のマナー 第5章 ビジネスのスキル					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	実践ビジネスコミュニケーションⅡ		科目コード	28017401		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	あらゆるビジネスシーンで必要とされる構文または談話レベルの発話—敬語や待遇表現—について、実際の場面を設定し、学生自ら主体的に学べるようグループワークで実践し、日本のビジネス社会で使えるようにする。					
到達目標	Iに引き続き、日本で働くときに役に立つマナーやルールについて理解し、実践できる					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(10%)、提出物(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元ごとについて確認テストを行う。 提出物: 決められた単元の発話を動画で撮影し、発音のレベルをはかる。 期末試験: 単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	岡崎 良美		常勤			
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	日本語学習者のための それ、知りたかったカイシャの日本語 公益財団法人 日本漢字能力検定協会					
関連科目	言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB ⅡB 通訳Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ 言語知識ⅠA ⅡA 言語知識ⅠB ⅡB 実践ビジネスコミュニケーションⅠ					
授業計画	1 第8章 読み取りのスキル② 2 第9章 読み取りのスキル③ 3 第10章 書くスキル1. 4 第11章 書くスキル② 5 第12章 交渉のスキル① 6 第13章 交渉のスキル② 7 第14章 交渉のスキル③					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	CAD演習Ⅲ			科目コード	28025901	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	AutoCADの基本操作およびCAD図面作成の基礎力を「AutoCAD 練習帳」を活用して体系的に学ぶ。最終的には、複数の機械部品図あるいは簡易建築図など、一から作図できるレベルを目指す。テキストに掲載されている100問の演習問題のうち、授業の進行や習熟度に合わせた代表的な課題を扱い、必要に応じて追加の図面演習も行う。					
到達目標	1.AutoCADの基本操作(ファイル管理、画層管理、線種・線幅の設定など)が理解できる。 2.「AutoCAD 練習帳」の演習問題を通じ、基本的なコマンド(作図・修正コマンドなど)を習得できる。 3.図面の寸法記入や注釈(文字・寸法線)、印刷・レイアウト機能の扱い方が理解できる。 4.一連の作図手順を把握し、任意の簡単な機械部品図または簡易建築図を一から作成できる。					
評価項目	課題制作物(50%)、中間発表(45%)、出欠席(5%)					
評価基準	課題制作物(50%)、中間発表(45%)、出欠席(5%)。					
担当教員	玉置 順一			非常勤		
実務経験者による授業	機械系大学にて、機械設計・材料力学等の機械系分野を履修後、ソフトウェア企業にて工業系システムエンジニアとして、システム開発の上流工程から下流工程、運用と幅広く従事した経験を活かし、情報系実習指導を行う。					
テキスト・参考文献	『AutoCAD 練習帳 作図練習編 100問: みんなにやさしいCADの超入門書』 必要に応じて配布資料を用いて補足説明を行う。					
関連科目	CAD演習Ⅰ(3D) CAD演習Ⅱ(2D)1年 CAD演習Ⅱ(2D)2年					
授業計画	<p>1 オリエンテーション</p> <p>AutoCAD概要の振り返り 振り返り(AutoCAD の概要)、CAD概要について理解できる</p> <p>2 作図編・第1章 ライン、円、ポリライン等の作成および簡単な修正コマンドを習得</p> <p>3 作図編・第2章 文字スタイルの設定、基本寸法記入ができる</p> <p>4 作図編・第3章 注釈オブジェクトの配置や寸法スタイルのカスタマイズができる</p> <p>5 作図編・第4章 図面枠の作成と縮尺の適切な設定ができる</p> <p>6 作図編・第5章 ブロックやグループ機能の活用、再利用性を高める操作を理解する</p> <p>7 【続】作図編・第1章 パラメトリック図面や外部参照(Xref)の基礎を理解する</p> <p>8 【続】作図編・第2章 効率的な作図方法の習得</p> <p>9 【続】作図編・第3章 繰り返し作業を減らすマクロ設定やカスタマイズの導入を学ぶ</p> <p>10 総合演習(1)</p>					

	<p>CAD設計課題 部品図などの一連の作成手順を通じて総合力を身につける</p> <p>11 総合演習(2)</p> <p>応用課題 応用課題に取り組み、柔軟な作図アプローチを習得する</p> <p>12 総合演習 プレゼンテーション作成</p>
事前事後学習	

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス英語Ⅲ			科目コード	280672701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	グローバル化が進む中、企業における外国人材の採用は拡大している。日本企業で日本人と協働しながら働くためには、会議対応や報告・相談・調整などに必要な高度な日本語コミュニケーション力が求められる。本授業では、ビジネス場面を想定した英語表現も扱いながら、通訳的な対応力や社内会議で活用できる日本語力の向上を目的とする。					
到達目標	科学・技術・工学・芸術・数学(STEAM)に関する話題を扱った30秒程度のCNNニュースを題材として、身近な問題を英語で考える。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(10%)、提出物(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元ごとの単語テストを行う。 提出物: 決められた単元の発話を動画で撮影し、発音のレベルをはかる。 期末試験: 単元ごとの翻訳、まとめ問題、単語等の科目試験を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	English for the Global Age with CNN(朝日出版社)					
関連科目	ビジネス英語 I ビジネス英語 II					
授業計画	Unit 1: Defiant Outlier Unit 2: Energy Waiting to Be Tapped Unit 3: Debilitating Heat Unit 4: Good or Bad, Be Prepared Unit 5: Retaking Control Unit 6: Pets Preferred Unit 7: Artificial Intelligence Unit 8: Do-or-die Desperation Unit 9: More Steps Still Needed Unit 10: Prickly Problems Unit 11: NYC Launches Road Tax Unit 12: Imbibers Beware					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	接遇演習			科目コード	28014701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	お茶の出し方や名刺交換等のビジネスマナー、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナーなど、社会人として必要なビジネスマナー・大人として必要なマナーすべてを習得する。					
到達目標	日本でのビジネスシーンで、日本固有のしきたりや、企業内での来客対応等について学び、日本での社会人生活に必要な知識や習慣を理解できるようにする。テーブルマナーを理解し、実践できる。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元ごとの確認テストを行う。 期末試験: 単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	須藤 のどか			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会で求められる ビジネスマナー 専門教育出版 井上 洋子 著 ・講師作成資料配布 					
関連科目	ビジネス実務					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーブルマナー 確認テスト 2. お茶 確認テスト お茶実践 3. 冠婚葬祭 確認テスト 4. まとめ 					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	コンピュータシステムⅢ			科目コード	28025201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	後期	90	4	無
授業の概要・目的	科目A分野の専門用語の確認、科目Bの思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行い、基本情報技術者試験の取得を目的とする。					
到達目標	技術戦略マネジメント、システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査についての基本的な知識を身につけ、専門用語が理解できる。基本情報技術者試験の合格を目指す。					
評価項目	本試験点数(75%)、模擬試験点数(20%)、出席率(5%)					
評価基準	本試験点数:基本情報の結果により判定し評価する。模擬試験点数:模擬試験点数により判定し評価する。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論(シラバス9.0対応) システム開発と情報技術(シラバス9.0対応) IT戦略とデータ利活用(シラバス9.0対応) ウイネット					
関連科目	コンピュータシステムⅠ コンピュータシステムⅡ					
授業計画	1. 情報系学科合同授業説明 2. 午前問題答練 3. 午後問題答練 4. 模擬試験1 5. 弱点補強 6. 模擬試験2 7. 総まとめ 8. 決起会					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	IT企業リテラシーⅡ			科目コード	28070901	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	後期	50	2	無
授業の概要・目的	日本の関連企業で就労する上で、新入社員から中堅社員としてスムーズなキャリアパスができるように、各自が就職する専門的な企業形態や仕組みを知る。日本の社会で通用する(正しい敬語を使用し)ビジネス文書が書けるようになる。SPIの問題(言語分野)を理解し、理解できるようになる。					
到達目標	Iに引き続き、就職先となる「システム開発」、「Webシステム」、「システム制御」、「CAD」の各分野について、自分の職種に合った分野の学習を主体的に進める。就職先の会社や業界について、研究を深め、プレゼンテーションができる。					
評価項目	プレゼンテーションおよびPP課題(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元ごとの確認テストを行う。 期末試験: 単元ごとの内容、まとめ問題等を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	あつという間にまるわかり! SPI問題集 図解&書き込み式 株式会社 長岡書店					
関連科目	IT企業リテラシーⅠ					
授業計画	1 SPI言語分野 同意語・反意語、文法、敬語、長文問題等、日本の社会で通用する知識を身につける 2 企業調べ 内定先の企業概要・職種について調べる組織を知る 3 企業概要パワーポイント作成 企業調べで調べた内容についてパワーポイントを作成し発表する 4 動画作成 3年間の自分史を動画作成する 5 まとめ 自分が希望している職種についての理解とまとめ					
事前事後学習						

国際ITシステム学科 令和8年度シラバス

科目名	卒業研究			科目コード	28070101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	後期	105	4	無
授業の概要・目的	システム開発、アプリケーション開発等のチームに分かれ、ビジネス系と協力してITを使用してどんな解決ができるか企画し、開発、テスト、プレゼンテーションを行い、自分の立ち位置を考えてメンバーと協力しながら納期限内に完成させる。					
到達目標	3年間の集大成として、学科コラボレーションに取り組む。「ビジネス系」×「情報系」で日本人学生と協働し、それぞれの業界が抱えている問題を解決し、提案できるようにする。					
評価項目	振り返り課題 (95%) 出欠席 (5%)					
評価基準	卒業研究を振り返ってPowerPoint作成。 役割、目的、内容、成果など総合評価					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クロスエデュケーション 2. システム企画 3. 基本設計 4. プログラミング 5. プレゼンテーション 					
事前事後学習						